

町自連 第17回 定期総会 議事録

日 時 令和元年5月26日(日) 16時02分開会 / 18時03分開会
場 所 八王子エルシィ 3階

廣元 冽 常任理事・北野地区連合会長の司会により進行

1. 開会の辞

廣元常任理事により開会した。

2. 秋間会長挨拶（代行 小室崇司副会長）

秋間会長不在のため、小室副会長が会長代行として、会長からの挨拶文を代読。

皆様、こんにちは、本日はお忙しい中、多くの方々にご出席を頂きありがとうございます。日頃より、町会・自治会活動にご理解ご協力を頂き感謝申し上げます。

2018年度を振り返りますと、海外では初の米朝首脳会議、米中貿易摩擦の激化、英国のEU離脱問題等、予断を許さない一年でありました。

国内では、西日本豪雨、台風21号、北海道胆振東部地震などの自然災害が多発し、改めて防災、減災対策の重要性についての認識が高まった年でもありました。

さて、町会自治会連合会は「向こう三軒両隣」「互近助けあい」を基本とする共助の組織で、町会、自治会を地区ごとにまとめ活動している組織で、現在八王子市内では、579団体、153,014世帯が登録され、うち町会自治会連合会に加盟は、356団体、120,651世帯を擁し八王子を代表する連合組織となっています。

そして、町自連活動の基本は、第一に各单位、町会、自治会、管理組合の自主性を尊重しつつ活性化の促進。第二に集合体である地区連合会の定例会を毎月開催することで地域の課題への対応、情報交換、更に町自連役員会の報告等を確実に、各町会、自治会に徹底周知すること。第三に地区連合同士の情報交換と広域にわたる課題解決に向けた事業を進めていくことにあります。併せて行政主導の各種審議会、委員会等にも積極的に代表を送り込み町自連の主張を反映すべく努めております。

また、会運営の充実に付きましても、効率よく機能させるため、総務、広報、事業、組織、生活安全部の5つの部に分け、副会長が中心となり事業の進捗を図り、平成30年度予定をしておりました事業も滞りなく終えることが出来ました。これも皆様のご協力のお陰であり深く感謝の意を申し上げます。

そして八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会、多摩地域の市町村をはじめ、東京都町会連合会、全国自治会連合会の情報を広く共有し、町自連の発展に努めて行きたいと考えております。

むすびに、本総会がスムーズに進行致しますよう、ご協力をお願いし挨拶とさせていただきます。

【総会成立報告】

- ◆ 司会者は総会成立状況を事務局長より報告させた。

事務局長より総会成立報告

町自連加入 354 団体中、出席 138 団体、委任状 159 団体、合計 297 団体となり、会則第 12 条 4 項により総会は成立する旨報告

3. 議長選出

- ◆ 司会者より議長は会則第 12 条 3 項により選出したいが如何するかと発言したところ、出席者より司会者一任の発言があり、満場異議なしとの声を受け、司会者に一任。司会者は、井上克央 常任理事・由木地区連合会長を指名した。

【議長登壇】

- ◆ 議長は次の 2 名を議事録署名人として指名し、議事に入った。
議事録署名人

内田 豊 常任理事・加住地区連合会長
高橋文夫 常任理事・由井地区連合会長

4. 議 事

- ◆ 議長は第 1 号議案平成 30 年度事業報告、第 2 号議案平成 30 年度決算報告、第 3 号議案平成 30 年度監査報告を一括上程した。各議案上程、報告後質問を受ける事とした。

(1) 第 1 号議案 平成 30 年度 事業報告

- ① 総括、前野事務局長より総会資料により説明・報告した。

以下、各部会の部長より報告する。

- ② 総務部報告、 小室総務部長から総会資料により説明・報告した。
- ③ 広報部報告 石井広報部長から総会資料により説明・報告した。
- ④ 事業部報告 上田事業部長から総会資料により説明・報告した。
- ⑤ 組織部報告 成瀬組織部長から総会資料により説明・報告した。
- ⑥ 生活安全部報告 生永生活安全部長から総会資料により説明・報告した。

(2) 第 2 号議案 平成 30 年度決算報告

河西会計から総会資料により説明・報告した。

(3) 第 3 号議案 平成 30 年度監査報告

山崎・木住野監事を代表し、山崎監事が次のように報告した。

- ① 会計監査については、会計帳簿及び関係書類を閲覧等必要な監査手続きを用いて検査し正確性を検討したこと。
- ② 業務監査については、定例三役会、常任理事会に出席し業務報告を聴取し、関係書類の閲覧等業務執行の妥当性を検討したこと。
その結果決算報告は正確且つ妥当と認めるとともに、事業報告は適正であること認め、平成 31 年 4 月 9 日常任理事会で報告したこと。

- ◆ 議長は質問を受ける旨発言

発言者は氏名、地区名及び所属団体名を名乗り発言をして欲しい旨説明した。

【質疑応答】

【質問 1】 元八地区・さつき野自治会 石塚自治会長

「町会・自治会の活動活性化の推進に関する条例」では、市の責務として、努力するとか必要な支援するといった表現である。高齢化が進み、町会役員の担い手不足が深刻な問題となっている。市が積極的に取り組むような表現での工夫がほしかった。また、いちよう祭り会場でのキャンペーンでは、どの位加入促進につながったのか、その効果をどう分析しているのか。

《回答》 町自連としても、高齢化に伴う様々な問題は十分認識している。
条例化を図った意義は、市行政を町会自治会と連携したパートナーとして位置付けたことにある。これまでのように、市へ一方的に頼むのではなく、我々自身も努力を重ねることが重要であり、市と相互協力を推進することで、今後の効果、問題解決にむすびつくものと期待している。
また、効果分析については、引き続き多くの人で賑わういちょう祭りなどの場で、ハンドブックを活用しながら、町会自治会の必要性を広く周知し、加入促進につなげたと考えている。

【質問2】 横山北地区・長房自治会 松葉自治会長
自治会活動賠償責任保険の加入促進の説明文に、加入人員を追記したほうがいいのではないかと。
また、加入団体が増えているのに決算説明にある保険手数料の当初予算と決算額は同じだが。

《回答》 当該保険では、例年加入世帯や保険パターンが、変更となる加入団体もあるため、一概に加入者数での比較は難しく、加入団体で表示している。
また、決算報告書にある保険手数料の当初予算額は、前年度決算時の実績を用いているため、当該年度での比較とはならない。

【質問3】 元八地区・大楽寺町関口町会 佐藤町会長
役員研修の研修報告について、資料を作成しているのか、また、どこまで行っているのか。あわせて、研修経費の内訳はどうなっているのか。

《回答》 役員研修の実施報告については、資料を含め常任理事会で報告しており、地区連合会長に資料等があるので、参考にしてほしい。研修経費については、交通費及び1泊の素泊まり経費を負担しており、それ以外の飲食に伴う経費等は個人負担としている。なお、参加者から徴した経費は、収入の部にある特別会費に計上している。

【質問4】 元八地区・式分方町一丁目町会 佐藤町会長
監査報告で「検討した」とあるが、検討という言葉は監査に用いるのは適切か。

《回答》 監査を実施するにあたり、まず、監査員はその事業方法や内容を確認し、適切と認めたのち、監査を実施したという意味で説明をしたもの。今後は、表現について見直しを検討する。

◆ 議長は質問発言者がいない事を確認
会場より異議なしとの発言あり

◆ 議長は第1号議案平成30年度事業報告、第2号議案平成30年度決算報告、第3号議案平成30年度監査報告について採決を行ったところ、原案のとおり拍手にて承認された。

◆ 議長は第4号議案 会則の一部改正を上程した。
会則の一部改正について、前野事務局長より事務所の移転に伴う改正の説明した後、原案のとおり拍手にて承認された。

- ◆ 議長は第 5 号議案の 1 及び第 5 号議案の 2 役員選出（候補者氏名）を上程した。
第 5 号議案の 1 では、今年度任期満了に伴う役員の選考について、尾寄役員選考委員長（常任理事・西部第一地区連合会長）から役員候補者名簿により提案した後、議長は第 5 号議案の 1 についての採決を行い、原案のとおり承認された。

会長	秋間 利久	元横山地区連合会長
監事	成瀬 義雄	中央地区連合会長
	浅井 隆治	鏈水尾根協議会長

続いて、第 5 号議案の 2 では、小室副会長・会長代行より会則第 7 条に基づき 3 月 12 日及び 4 月 9 日の常任理事会において、会長、副会長、監事及び会計の候補者を推薦し、諮った結果、承認されたので下記のとおり提案する旨報告した。その後、議長は第 5 号議案の 2 について採決を行ったところ、原案のとおり承認された。

副会長	小室 崇司	中部地区連合会長
	石井 修一	横山南地区連合会長
	荒井 富男	川口地区連合会長
	尾寄 敏夫	西部第一地区連合会長
	佐戸 博	浅川地区連合会長
会計	河西 萬智朗	本町地区連合会長
	前原 教久	恩方地区連合会長

(新旧役員が席を移動)

- ◆ 新会長から就任挨拶
秋間会長不在のため、小室副会長が会長代行として、会長からの挨拶文を代読。

第五号議案の 2 として「役員候補」を上程し、ご審議いただきましたところ、ご承認をいただき、ありがとうございました。

本日、町会自治会連合会の新会長として、皆様のご期待に添えるよう、精進してまいりますので、引き続きご支援を賜ります様、お願い申し上げ、会長就任の挨拶とさせていただきます。

- ◆ 議長は第 6 号議案令和元年度事業計画(案)、第 7 号議案令和元年度予算(案)を一括上程した。

(1) 第 6 号議案 令和元年度 事業計画(案)

① 総括、前野事務局長より総会資料により説明・提案した。

以下、各部会の部長より説明・提案する。

② 総務部報告 小室総務部長から総会資料により説明・提案した。

③ 広報部報告 石井広報部長から総会資料により説明・提案した。

④ 事業部報告 荒井事業部長から総会資料により説明・提案した。

⑤ 組織部報告 佐戸組織部長から総会資料により説明・提案した。

⑥ 生活安全部報告 尾寄生活安全部長から総会資料により説明・提案した。

(2) 第 7 号議案 令和元年度 予算(案)

前原会計から総会資料により、説明・提案した。

◆ 議長は質問を受ける旨発言

【質疑応答】

【質問1】 中部地区・三崎町町会 篠崎町会長

広告協賛のスポンサーは誰が担当するのか。以前、町会担当としてスポンサーを募るために、町会長がセールスに歩いた。実際に勧誘するのは広報部などが担当するなどのルール作りがあってもいいのではないか。

《回答》 主に広報部長と印刷会社が協力しながら、スポンサー担当業務を行っている。勧誘の考え方については、財源確保の観点からも、安定した収入となる固定したスポンサーの開拓は必要と考えており、町会長の皆様にご協力をいただくことで、固定したスポンサーの掘り起こしにつながる重要な取り組みと認識している。今後も会長を筆頭に安定した財源確保にむけ、固定スポンサーの開拓に尽力したいので、ぜひ情報提供を含め、ご協力をお願いしたい。

【質問2】 元八地区・式分方町一丁目町会 佐藤町会長

人件費が前年に比して500万円ほど上がっている理由は。また、人件費があがることで、事業計画にどのように反映していくのか。

《回答》 町自連業務も、年々複雑化、多様化しており、計画した事業を執行していくうえでも、正規職員の配置が必要となっている。しかし、新たな人件費の確保が難しいことから、市と調整を図り、行政OBを正規事務として受け入れ、その人件費を行政が負担した結果、人件費が、歳入、歳出とも増額となったもの。

【質問3】 東南部地区・子安町一丁目町会 遠藤町会長

増額した補助金には、事務所移転経費のほか、人件費も含まれているとの説明があった。この人件費は事業に対する比率で割当られたものか。

《回答》 事業費に対する割合で人件費が補助されていない。あくまでも正規職員の人件費として補助されたもの。

- ◆ 議長は質問発言者がいない事を確認し第6号議案 平成令和年度事業計画(案)、第7号議案 令和元年度予算(案)について採決を行ったところ、原案のとおり満場一致の拍手にて承認され、各議案に記載された(案)を削除するよう伝えた。

5. 報告事項

- ◆ 議長は報告事項「規程の一部改正報告」を事務局より報告させた。
富貴澤事務局次長から規程の一部改正について総会資料により報告した。
- ◆ 議長は全議案の審議が終了し承認された旨宣言し降壇した。

6. 退任町会自治会長に感謝状贈呈

小室副会長・会長代行は、表彰規程により平成30年度末にて退任した、在任4年以上の表彰対象者24名へ感謝状を贈呈した。

7. 閉会の辞

司会の廣元常任理事により第17回定期総会を18時03分閉会した。

令和元年 6 月 11 日

議事録署名人 常任理事 内田 豊 印

議事録署名人 常任理事 高橋 文夫 印